

# 地区防災計画基礎研修

## 地区防災計画で大切なのは…



松山市 防災・危機管理課  
芝 大輔

# 地区防災計画をつくるには 松山市では…

## ・H27～29を重点的取組期間として3か年で全地区作成の目標を共有

自主防災組織ネットワーク全体会議で全地区に共通の認識  
市内全ての地区で防災士を中心に連携できた  
作成地区が進むほど、残された地区が作成に動き出す

## ・先行モデル地区の取組を展開(制度の活用)

内閣府の地区防災計画モデル地区(五明、高浜、中島)の取組を他地区に啓発  
アドバイザーの知識や経験に基づいたアドバイスが地域住民を動かす

## ・人的支援のほか、財政的支援も“みんなで作る”意識で住民負担を軽減

地区の会議には市職員のほか、消防職員が出席、消防団や学校など他団体との橋渡し  
新たな補助制度を創設し、地区防災計画の活動を支援  
大学生と一緒に参加することで活性化、地域のおじいちゃんおばあちゃんのやる気UP

## ・計画のひな形を作成して、進まない地区を支援

作成の第一歩が進まない地区には、ひな形を作成して取組を促進  
地域によって熱量は様々。温度差に応じた支援で目標期限を意識

# 自主防災組織の結成促進

平成 7年 1月17日 阪神淡路大震災

平成23年 3月11日 東日本大震災

大災害の教訓：『自助』『共助』の重要性

市内全域を目標に結成を促進

松山市 自主防災組織

平成24年8月

結成率  
100%達成



ネットワーク会議

統括機関設立

地区連合会  
41地区

全地区に連合会  
結成

自主防災組織  
753組織

令和4年4月1日現在

# 地域をつなぐ防災士(松山市の防災士養成)

全国一

(令和4年9月末現在)

全国初

## 防災士(H17から)

地域のために公的な役割を担うとの認識に立ち、自主防災組織の推薦を条件に資格取得に必要な経費を全額補助

| 都市名      | 防災士数  |
|----------|-------|
| 松山市(中核市) | 7,686 |
| 大分市(中核市) | 4,001 |
| 仙台市(政令市) | 3,596 |
| 高知市(中核市) | 3,203 |
| 横浜市(政令市) | 2,911 |

自主防災組織

H24~  
市立小・中学校

H25~  
市立幼・保育園

民間取得者

自主防災組織の  
推薦

児童・生徒の安全を確保

事業所  
大学生など

2,224名

市立小・中学校409名  
幼・保育園107名

4,435名

H26~ 郵便局 48名

H26~ 児童クラブ 126名

H26~ 福祉避難所 176名

H29~ 災害協定  
事業所 118名

R1~ 高校生 43名

【参考】H27~ 大学生防災リーダークラブ1,309名

平成17年度

123回 8,569人



令和3年度

2,279回 23,744人

年間の防災訓練・研修会の回数、参加者が飛躍的に増加!

実施回数  
参加人数  
19倍  
3倍

# 地域ぐるみの松山方式防災

自主防災組織を中心とした地区防災計画の作成  
～地域ぐるみの防災計画でみんなの命はみんなを守る～

市内全域全41地区で完成!!

各消防署で分科会を開催

中央署管轄

東署管轄

地区別防災カルテ等を用い地域特性に応じた防災計画の骨組みを考察

南署管轄

西署管轄

地区会議で作成

新玉...

雄郡

東雲...

道後

危機管理課

消防署・地域防災課

消防団

桑原...

石井

三津浜...

高浜

地域関係団体等の参画

地域の民生委員

地域の(防災)関係団体

地域の小中学校幼保育園

地域の事業所・福祉施設等

各地区と行政が協同で地域の特色・実情に応じた地区防災計画の肉付けを行う

地区防災計画作成の中で、地域の自主防災組織、消防団、女性防火クラブや小中学校、幼保育園、民間企業等が地域ぐるみで一緒に協力して、避難計画、行動計画、避難行動要支援者対策などを考え、地域みんなの命をみんなを守る取組を進めています。

# 地区防災計画をつくるには 松山市では…

## ・H27～29を重点的取組期間として3か年で全地区作成の目標を共有

自主防災組織ネットワーク全体会議で全地区に共通の認識  
市内全ての地区で防災士を中心に連携できた  
作成地区が進むほど、残された地区が作成に動き出す

## ・先行モデル地区の取組を展開(制度の活用)

内閣府の地区防災計画モデル地区(五明、高浜、中島)の取組を他地区に啓発  
アドバイザーの知識や経験に基づいたアドバイスが地域住民を動かす

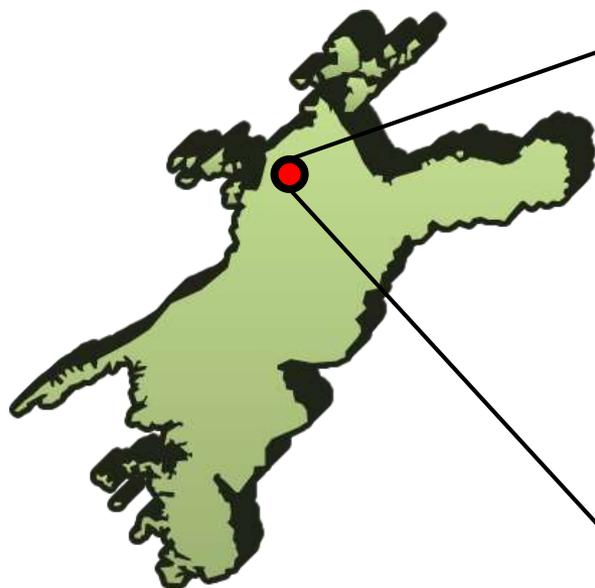
## ・人的支援のほか、財政的支援も“みんなで作る”意識で住民負担を軽減

地区の会議には市職員のほか、消防職員が出席、消防団や学校など他団体との橋渡し  
新たな補助制度を創設し、地区防災計画の活動を支援  
大学生と一緒に参加することで活性化、地域のおじいちゃんおばあちゃんのやる気UP

## ・計画のひな形を作成して、進まない地区を支援

作成の第一歩が進まない地区には、ひな形を作成して取組を促進  
地域によって熱量は様々。温度差に応じた支援で目標期限を意識

# 五明地区の概要



 指定避難所

- ☑人口:584人, 世帯数:181世帯, 高齢化率:43%(2016.1.1松山市地区別推計人口)
- ☑8つの集落に分かれている
- ☑指定避難所が**4箇所**存在
- ☑地域全体が山間部の地域
- ☑想定災害:**土砂災害**

地区防災計画のテーマ

**大雨・土砂災害の避難計画の作成!**

**土石流危険溪流や急傾斜地危険箇所が多数存在!**



# 地区防災計画作成 地区会議



## 《27年度》

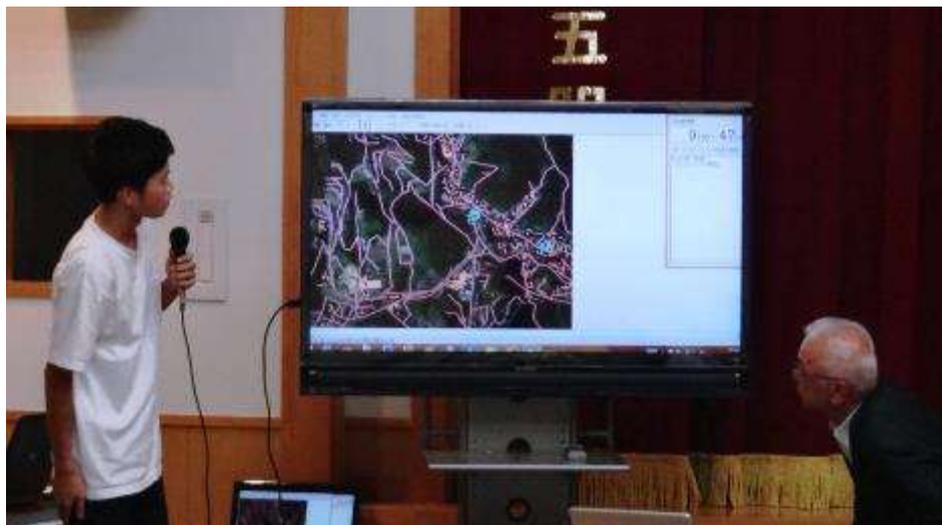
- ・第1回 地区会議(9/9)
- ・第2回 地区会議(10/17)
- ・まち歩き(11/22)
- ・第3回 地区会議(12/7)
- ・第4回 地区会議(1/30)
- ・第5回 地区会議(3/19)

## 《28年度》

- ・防災訓練(5/8)
- ・第1回 地区会議(6/7)
- ・第2回 地区会議(7/29)

地区会議には、**地域住民の他、消防団員、小学校、警察官、協定企業、福祉施設、行政・消防職員**などが参加し、**地域ぐるみ**で地区防災計画を作成

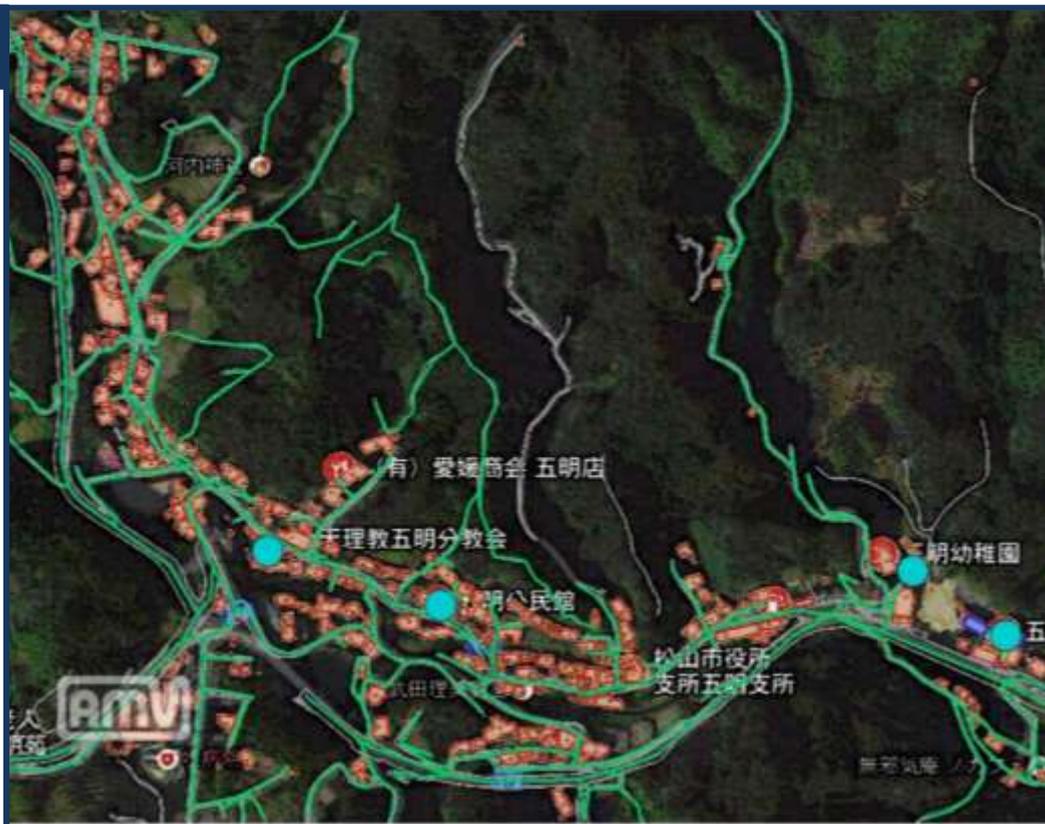
愛媛大学が作成した「避難シミュレータ」を用いて、**大学生防災士**が住民に土砂災害の危険箇所や避難ルート、避難所などを説明



# 土砂災害シミュレータ

## 土砂災害シミュレータとは

- 土石流と重ね合わせて避難状況が視聴可能
- 避難経路, 避難所を設定し, 避難するタイミング, 避難速度などを設定可能
- 土石流の発生時刻が設定可能
- 通行障害も設定可能



住民に土砂災害危険箇所・避難経路・避難場所を提示

避難するイメージを持ってもらう

H27. 11. 22

# まち歩き



災害危険箇所の確認や一時避難場所を選定するためのまち歩きを**自主防災、消防団、行政職員、消防職員、大学生等**で実施



H28. 5. 8

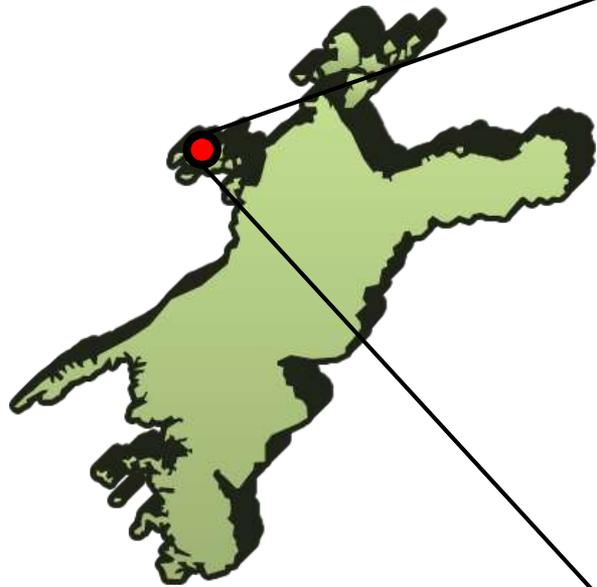
# 防災訓練



H27年度に作成した避難計画に基づいて、早期避難を図るための訓練を実施。**自主防災、消防団、女性防火、小学校、行政職員、消防職員、大学生等**が参加



# 中島地区の概要



- ✓人口: 3,785人, 高齢化率: 65.4% (2018.4.1現在) **※松山市で最大の高齢化率**
  - ✓忽那諸島6つの島に分かれている
  - ✓農業、漁業が主な産業
  - ✓指定避難所の多くが浸水区域
  - ✓想定災害: **地震津波・土砂災害**
- 平成29年11月に地区防災計画を作成

30年度の地区防災計画のテーマ

**地震・津波の避難計画の作成!**

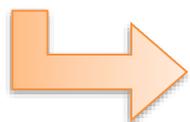


# 地形と津波リスク

## ☑前面は海、背面は山

島内は平地が少なく沿岸部に集中し、指定避難所のほとんどが津波の浸水想定区域にある。また、山間部は多くの土砂災害危険区域が存在する。

※7月豪雨の土砂災害で死者3名



指定避難所以外に一時避難所を設ける。(土砂危険を考慮)

## ☑津波想定

中島港 3.1m  
到達時間  
(1m以上の津波)  
約2時間

### 【参考】

松山市最大  
興居島由良港  
3.9m



 指定避難所

- (1)津波浸水想定区域、土砂災害危険箇所を考慮した一時避難場所、避難経路の検討  
住民が安心して避難できる経路・場所の確保が必要。  
住民に早期避難を促す必要がある
- (2)避難行動要支援者の対応  
一人で避難できない人をどう支援するか。高齢者が多いため、協力体制を強化する必要がある
- (3)世帯別の避難行動の確認と周知  
世帯ごとの避難カルテを作成し、各自が確認するとともに、地区内で活用できる情報として収集



地区の特性に即した実行性のある計画の策定

# 津波避難計画作成の取組



## 《30年度》

- ・第1回 地区会議(7/10) ※中止
- ・第1回 地区代表者会議(8/6)
- ・第2回 地区会議(9/3)
- ・中島東地区訓練(9/8)
- ・中島西地区訓練(9/9) ※中止
- ・中島陸野地区訓練(9/30) ※中止
- ・第3回 地区会議(10/5)
- ・怒和島訓練(10/11)
- ・津和地島訓練(10/31)

地区会議では、地区総代などが参加  
地区防災計画で津波対策の詳細記載がない



**まずは命を守るための津波避難計画作成  
避難カルテを全世帯で作成して地域で共有**

愛媛大学が作成した「津波避難シミュレータ」  
を用いて、大学生防災士が住民に津波の危  
険性と避難所への避難ルートや避難に要す  
る時間などを説明。

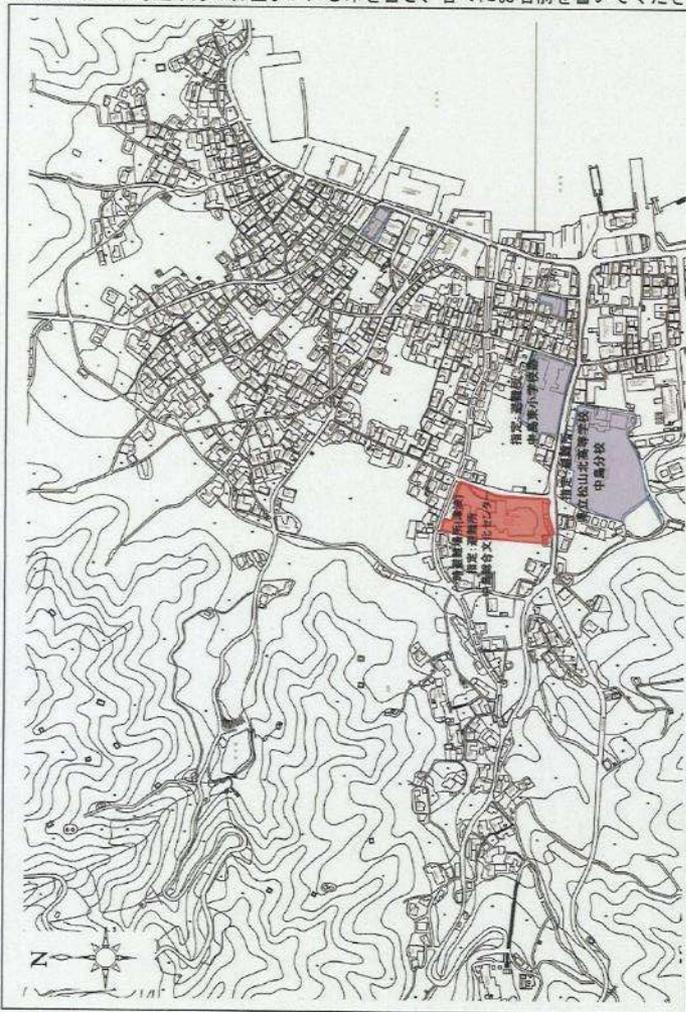


| 世帯番号 | 世帯主氏名 | 住所                         | 避難所     | 避難所要時間 | 備考 |
|------|-------|----------------------------|---------|--------|----|
| 001  | 山田 太郎 | 〒790-0000 愛媛県松山市○○街1-1-1   | 中島地区公民館 | 約5分    |    |
| 002  | 佐藤 花子 | 〒790-0000 愛媛県松山市○○街1-2-2   | 中島地区公民館 | 約5分    |    |
| 003  | 鈴木 一郎 | 〒790-0000 愛媛県松山市○○街1-3-3   | 中島地区公民館 | 約5分    |    |
| 004  | 田中 美穂 | 〒790-0000 愛媛県松山市○○街1-4-4   | 中島地区公民館 | 約5分    |    |
| 005  | 高橋 健太 | 〒790-0000 愛媛県松山市○○街1-5-5   | 中島地区公民館 | 約5分    |    |
| 006  | 渡辺 由美 | 〒790-0000 愛媛県松山市○○街1-6-6   | 中島地区公民館 | 約5分    |    |
| 007  | 伊藤 大輔 | 〒790-0000 愛媛県松山市○○街1-7-7   | 中島地区公民館 | 約5分    |    |
| 008  | 山本 真理 | 〒790-0000 愛媛県松山市○○街1-8-8   | 中島地区公民館 | 約5分    |    |
| 009  | 中村 隆夫 | 〒790-0000 愛媛県松山市○○街1-9-9   | 中島地区公民館 | 約5分    |    |
| 010  | 石川 千恵 | 〒790-0000 愛媛県松山市○○街1-10-10 | 中島地区公民館 | 約5分    |    |

# 津波避難計画作成の取組

## 家族の防災マップ

自宅から一時避難場所までの避難経路を書いてください。また、自宅に◎印、ご近所で災害時に助け合う身近な方のお住まいに○印を書き、各々にお名前を書いてください。



作成日  
年 月 日

## 中島地区 世帯別津波避難カルテ



地区 家

【住所】 愛媛県 松山市 \_\_\_\_\_

【電話】 ( ) - \_\_\_\_\_

### 【家の安全】

津波の前してきた地震で家が壊れてしまわないように、はじめに確認しましょう。あてはまるところに記入もしくは丸で囲ってください。

| 築年数又は建築年                   |       | 耐震診断 | 耐震補強工事   |
|----------------------------|-------|------|----------|
| 築                          | 年/昭・平 | 年建築  | した・していない |
| 家具転倒防止の実施状況                |       |      |          |
| 固定した ( 寝室・居間・台所 ) ・固定していない |       |      |          |



# 津波避難計画作成の取組

## (1) ご家族の情報

| お名前    | 世帯主に対する続柄<br>性別・年齢・緊急連絡先                 | 平日昼間の居場所 | 避難について          | 一時避難場所   | 避難にかかる時間 |     |
|--------|--|----------|-----------------|--|----------|-----|
|        |  |          |                 |   | 昼        | 夜   |
| 防災 たろう | (子) 男・女 25歳<br>(自宅・携帯) 090 - XXXX - XXXX | 津波防災株式会社 | 一人で避難できる 支援がほしい | 避難方法      | 10分      | 20分 |
|        | ( ) 男・女 歳<br>(自宅・携帯) - -                 |          | 一人で避難できる・支援がほしい | 避難方法      | 分        | 分   |
|        | ( ) 男・女 歳<br>(自宅・携帯) - -                 |          | 一人で避難できる・支援がほしい | 避難方法      | 分        | 分   |
|        | ( ) 男・女 歳<br>(自宅・携帯) - -                 |          | 一人で避難できる・支援がほしい | 避難方法      | 分        | 分   |
|        | ( ) 男・女 歳<br>(自宅・携帯) - -                 |          | 一人で避難できる・支援がほしい | 避難方法      | 分        | 分   |
|        | ( ) 男・女 歳<br>(自宅・携帯) - -                 |          | 一人で避難できる・支援がほしい | 避難方法      | 分        | 分   |
|        | ( ) 男・女 歳<br>(自宅・携帯) - -                 |          | 一人で避難できる・支援がほしい | 避難方法      | 分        | 分   |
|        | ( ) 男・女 歳<br>(自宅・携帯) - -                 |          | 一人で避難できる・支援がほしい | 避難方法      | 分        | 分   |



### 夜に津波がくるとどんな状況になるか？

津波の前にくる地震によって、停電した場合、真っ暗闇の中で避難することになります。昼より時間がかかることを踏まえて想定しましょう。

 (徒歩)・ (車)・ (バイク)・ (自転車)・ (車いす)

## (2) 避難の上で不安なこと

---



---



---



---

(3) ご家族で医師・看護師・薬剤師・保健師・社会福祉士・児童福祉士・作業療法士・ヘルパー・警察・消防士・重機の運転資格等をもっている人がいらっしゃいましたら、その情報を記載してください。  
こちらの情報をもとに災害時に支援者としてのご協力をいただく場合があります。

---



---

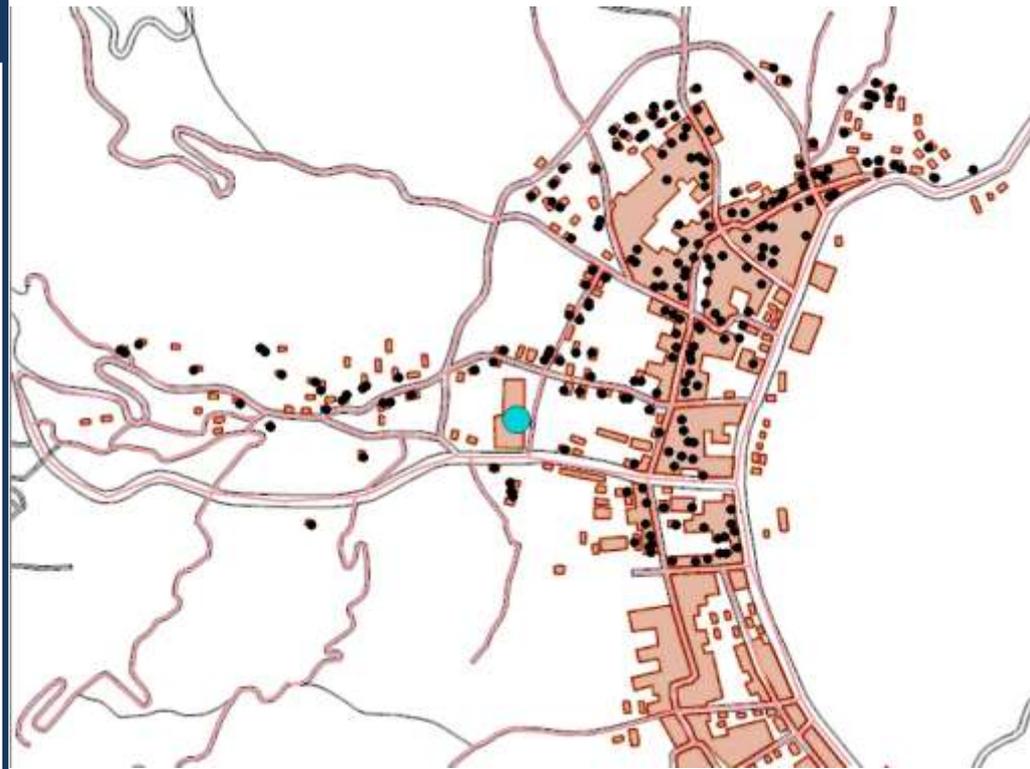


---

# 津波避難シミュレータ

## 津波避難シミュレータとは

- 津波の浸水と重ね合わせて避難状況が視聴可能
- 避難経路, 避難所を設定し, 避難するタイミング, 避難速度などを設定可能
- 津波の発生時刻が設定可能
- 通行障害も設定可能



住民の避難カルテから避難経路・避難場所を設定。津波の浸水も重ね合わせる  
↓  
地区ごとに作成し配布

住民の避難ルート、時間等を可視化することで、より現実に近い避難リスク等を検証

H30. 09. 08

# 中島東地区 防災訓練



あいにくの雨にも関わらず約500人が参加。消防団や女性防火クラブ、大学生なども参加し、地域ぐるみで訓練を実施。避難カルテを配布して避難ルートとルート周辺の危険箇所等を検証。





# 平成30年7月豪雨

# 松山市高浜地区

## 愛媛県全体の被害（災害直接死）

| 市町村名       | 死者，行方不明者          |
|------------|-------------------|
| 松山市        | 4名                |
| 今治市        | 2名                |
| 宇和島市       | 11名               |
| 大洲市        | 4名，1名             |
| 西予市        | 5名                |
| 鬼北町        | 1名                |
| <b>愛媛県</b> | <b>27名，安否不明1名</b> |

## 高浜地区の被害

| 被害内容 | 内訳       |
|------|----------|
| 住居   | 全壊 3棟    |
|      | 大規模半壊 6棟 |
|      | 半壊 2棟    |
|      | 一部損壊 3棟  |
| 非住家  | 床上浸水 11棟 |
|      | 床下浸水 88棟 |
|      | 全壊 2棟    |
|      | 大規模半壊 1棟 |
| 人的被害 | 半壊 1棟    |
|      | 浸水 21棟   |
|      | 一部破損 2棟  |
|      | 2名（重傷）   |

# 平成30年7月豪雨 松山市高浜地区



# 平成30年7月豪雨 高浜地区は自分たちで地域を守った

松山市高浜地区では、地区内35箇所です  
土石流やがけ崩れが発生し、人家11戸  
が全半壊の被害となったが、避難の際に  
けがをした人を除いては全員無事であっ  
た。

7月6日 午後 自主防災組織が見まわり  
(土砂崩れ等確認) 18時頃～ 異常に気  
づき1軒1軒避難の呼びかけ

21:00 避難勧告発令(高浜3, 4丁目)



## 《ポイント》

・自主防災組織などにより自主的に  
見まわりが実施され、危険を確認した  
後は、行政の指示を待たずに避難行  
動が開始された。その結果、地区内  
35箇所での土砂崩れ等が発生した  
が全員無事であった。

# 高浜地区防災訓練

中学生も避難所運営の一員地域の  
人たちを守る立場として活動



# コロナ禍での避難所開設対応

避難者の検温で37.5度以上の場合は別ルートで高体温者受付場所へ誘導し、名簿と体調調査表を記入してもらう



避難者の検温で37.5度以下の場合は直接避難者受付場所へ誘導し、名簿と体調調査表を記入してもらう



体育館内のブロックに誘導し感染予防（距離確保）を守って行動する



5 名簿記入後指定された場所（教室）へ誘導して一般避難者と交わらないようする

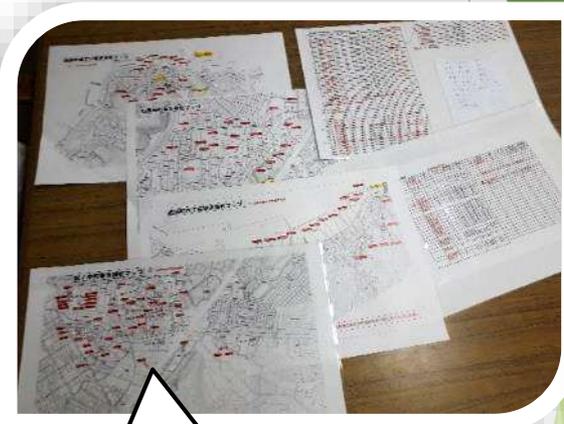
区画（世帯ブロック） 3.0×3.0×6  
通路w = 2.0

# 実践すること：地域で必要な対策を実践する（要支援者対策）

## 要支援者、支援協力者等の調査から台帳整備、一歩進めて支援者マップの作成と使用訓練

## 要支援者の安否確認と搬送体験

| 避難行動要支援者対応訓練(安否確認時間調査等) |    |     |     |         |     |     |     |      |     | 令和2年3月1日  |       | 赤字=要支援者を搬送した防災会 |       |            |      |         |  |
|-------------------------|----|-----|-----|---------|-----|-----|-----|------|-----|---|-------|-----------------|-------|------------|------|---------|--|
| 1) 要支援者安否確認時間           |    |     |     |         |     |     |     |      |     | * 新型コロナウイルスの関係上避難所への報告は代表者として、報告終了した防災会順に休んで早期に解散とした。 |       |                 |       | 確認件数は訓練時の数 |      |         |  |
| 防災会名                    | 会長 | 民生  | 防災士 | リーダーアップ | 消防団 | 他役員 | 参加者 | 確認軒数 | 班分け | 開始時刻  | 終了時刻  | 所要時間            | 搬送開始  | 到着         | 所要時間 | 搬送手段    | 備考   |
| 松ノ木町                    | 1  | 2   | 3   |         |     |     | 6   | 40   | 2   | 9:30  | 10:15 | 45              |       |            |      | 車       |  |
| すみれ野                    | 1  | (1) | 2   |         |     |     | 3   | 46   | 1   | 9:30  | 10:40 | 70              |       |            |      | 徒歩      | (1)は民生と防災士兼務   |
| 石風呂町                    | 1  | 1   | 3   | 1       | 2   | 2   | 10  | 24   | 1   | 9:30  | 9:50  | 20              | 10:00 | 10:13      | 13   | リヤカー    | ・通学路を使用して搬送<br>・リヤカーのハンドルねじが危ない<br>・足の悪い人がリヤカーに乗る場合検討                                  |
| 県団地                     | 1  |     | 1   |         |     | 1   | 3   | 14   | 1   | 9:30  | 9:47  | 17              |       |            |      | 徒歩      |  |
| 東梅津寺                    | 1  | (1) | 1   |         |     | 1   | 3   | 9    | 1   | 9:30  | 9:45  | 15              |       |            |      | 徒歩      | (1)は民生と防災士兼務   |
| 美浜                      | 1  | 1   | 1   |         |     |     | 1   | 4    | 1   | 9:30  | 9:50  | 20              |       |            |      | 徒歩      |  |
| 新浜                      | 1  | 1   | 2   | 1       | 3   |     | 8   | 31   | 2   | 9:44  | 10:21 | 37              | 10:23 | 10:39      | 16   | 車いす     | ・県道の歩道を使用して搬送  |
| 港山                      | 1  | 1   | 1   |         |     | 2   | 5   | 13   | 1   | 9:30  | 9:45  | 15              |       |            |      | 徒歩      |  |
| 梅津寺                     | 1  | 1   | 1   |         |     |     | 3   | 14   | 1   | 9:09  | 9:51  | 42              |       |            |      | 徒歩      |  |
| 一丁目                     | 1  | 2   | 3   |         |     |     | 6   | 57   | 2   | 9:30  | 10:10 | 40              |       |            |      | 徒歩      |  |
| 二丁目                     | 1  | 1   | 1   |         |     | 7   | 10  | 10   | 1   | 9:30  | 9:45  | 15              |       |            |      | 徒歩      | ・発災時刻が昼間、夜間で要支援者とのコンタクトに時間差がある。<br>・電話、聲、搬送準備と時間の問題。<br>・協力員宅から要支援者宅までの時間と搬送時間の差が発生する。 |
| 三丁目                     | 1  | 1   |     |         |     | 1   | 3   | 18   | 1   | 9:30  | 9:45  | 15              |       |            |      | バイク     |  |
| 四丁目                     | 1  | 1   | 1   |         |     |     | 3   | 16   | 1   | 9:30  | 9:55  | 25              |       |            |      | 車       |  |
| 五丁目                     |    | 1   | 1   |         |     | 1   | 3   | 9    | 1   | 9:30  | 10:00 | 30              |       |            |      | 車       |  |
| 六丁目                     | 1  | 1   | 2   | 1       |     | 1   | 6   | 20   | 1   | 9:30  | 10:01 | 31              | 10:09 | 10:16      | 7    | 車両(車いす) | ・車両に車いすを乗せて搬送  |
| 避難所                     |    |     | 4   | 1       |     | 1   | 6   |      |     |   |       |                 |       |            |      |         | ・避難所設置(シート、ベット間仕切り)を行ない、安否確認タイム表の集計を行った。   |
| 西消防署                    |    |     |     |         |     |     | 3   |      |     |   |       |                 |       |            |      |         |  |
| 計                       | 14 | 14  | 27  | 4       | 5   | 18  |     | 348  |     |   |       |                 |       |            |      |         |  |
| 人数総計                    |    |     |     |         |     |     |     | 85   |     |   |       |                 |       |            |      |         |  |



**要支援者マップ**



# 一歩進めた計画を：分散避難を進めるためには・・・

## 避難所開設手順

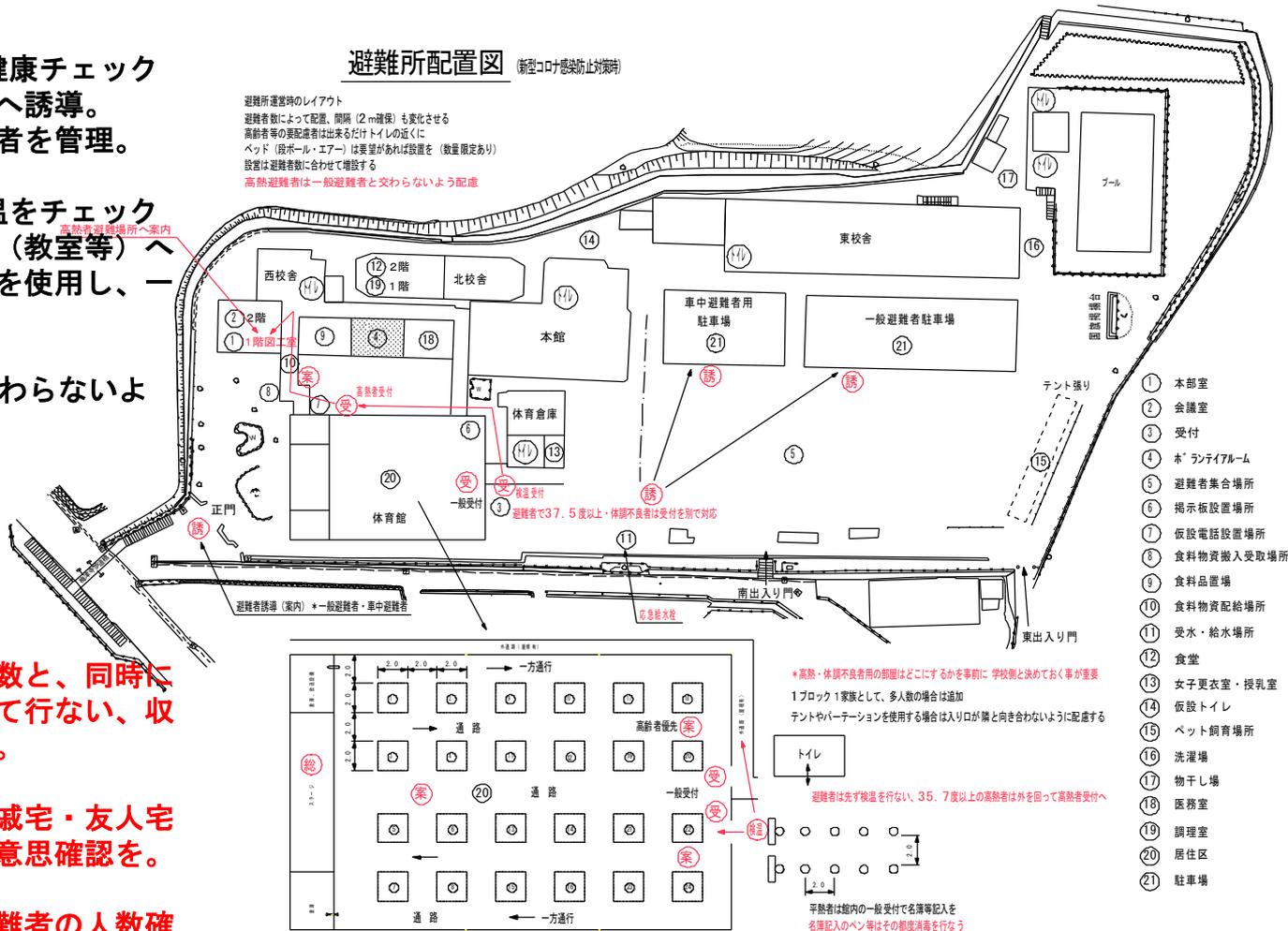
1) 避難者の検温（平熱者と高熱者を区別し受付場所へ誘導する）

2) 平熱者は一般受付で名簿、健康チェックシートを記入し、避難ブロックへ誘導。ブロックには番号をつけ、避難者を管理。

3) 高熱者は高熱受付で再度検温をチェックし名簿等を記入し別の避難場所（教室等）へ誘導する。受付担当者は防護服を使用し、一般受付とは別行動とする。

4) 高熱避難者と一般避難者は交わらないように配慮する。

## 新型コロナウイルス感染予防対応避難所配置例



\* 事前に各避難所の最大収容人数と、同時に地域住民の避難先確認も合わせて行ない、収容人数を把握する事が重要です。

避難先が自宅・指定避難所・親戚宅・友人宅宿泊施設・車中・集会所などの意思確認を。

\* 親戚、友人宅、施設等への避難者の人数確認や追跡調査が難しい場合が発生する事への事前検討が必要となる。(熊本での避難所)

# 地区防災計画をつくるには 松山市では…

- ・H27～29を重点的取組期間として3か年で全地区作成の目標を共有

自主防災組織ネットワーク全体会議で全地区に共通の認識  
市内全ての地区で防災士を中心に連携できた  
作成地区が進むほど、残された地区が作成に動き出す

- ・先行モデル地区の取組を展開(制度の活用)

内閣府の地区防災計画モデル地区(五明、高浜、中島)の取組を他地区に啓発  
アドバイザーの知識や経験に基づいたアドバイスが地域住民を動かす

- ・人的支援のほか、財政的支援も“みんなで作る”意識で住民負担を軽減

地区の会議には市職員のほか、消防職員が出席、消防団や学校など他団体との橋渡し  
新たな補助制度を創設し、地区防災計画の活動を支援  
大学生と一緒に参加することで活性化、地域のおじいちゃんおばあちゃんのやる気UP

- ・計画のひな形を作成して、進まない地区を支援

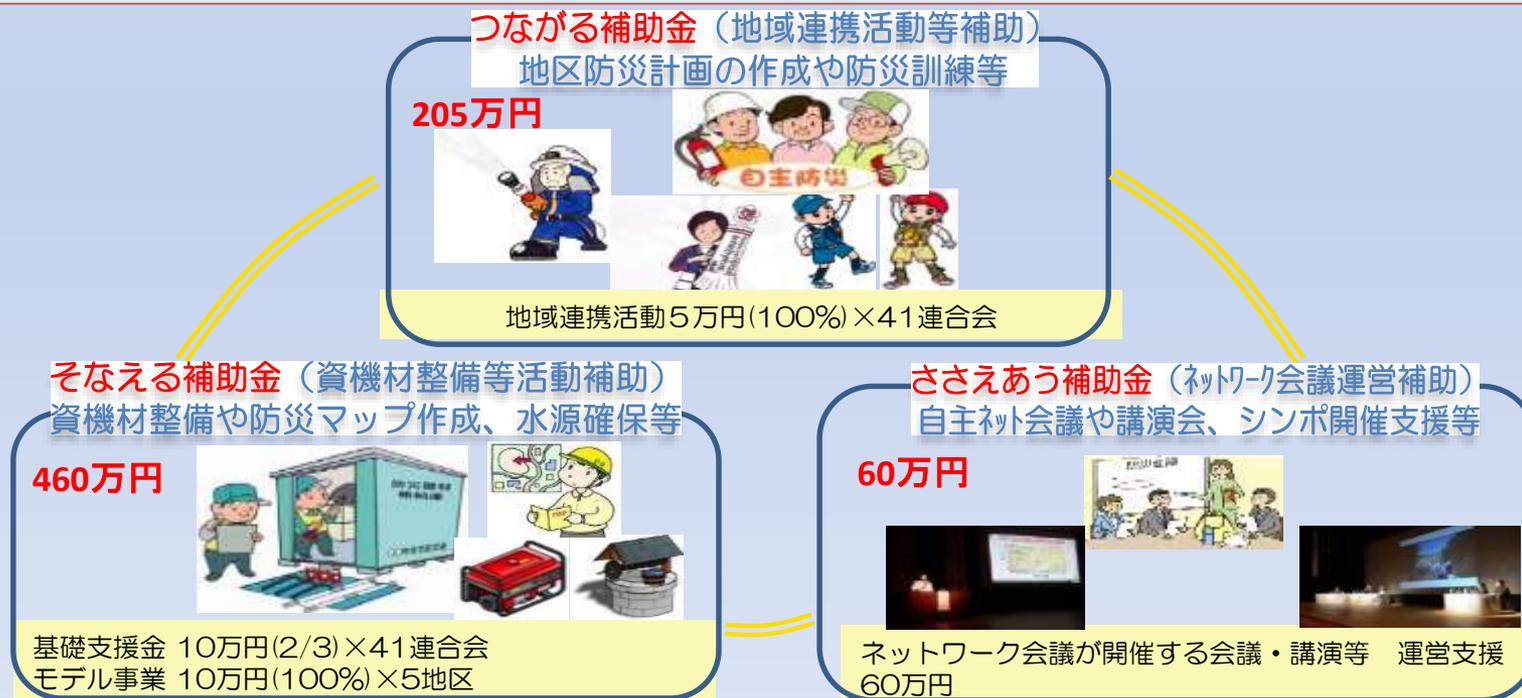
作成の第一歩が進まない地区には、ひな形を作成して取組を促進  
地域によって熱量は様々。温度差に応じた支援で目標期限を意識

# 地域ぐるみの防災支援事業（重点事業）

H27～H29年度事業  
H30～継続

災害対策基本法に位置付けられた『地区防災計画』の作成及び防災訓練や資機材整備等の活動を支援し、**市内全地区で自主防災組織と地区防災関係団体や民間企業等が連携した『地区防災計画』を作成するなど地域ぐるみの自助・共助活動の充実を図ります。**

自主防災組織に対する補助事業の拡充を図り、地域の財政負担を軽減して防災・減災対策の推進を支援します。



**効果** 市内全地区で「地区防災計画」が作成され自主防災組織と地域団体等の相互連携が強化され、地域の絆により地域ぐるみで防災力を高め被害の軽減を図ります。

# 地区防災計画をつくるには 松山市では…

- ・H27～29を重点的取組期間として3か年で全地区作成の目標を共有  
自主防災組織ネットワーク全体会議で全地区に共通の認識  
市内全ての地区で防災士を中心に連携できた  
作成地区が進むほど、残された地区が作成に動き出す
- ・先行モデル地区の取組を展開(制度の活用)  
内閣府の地区防災計画モデル地区(五明、高浜、中島)の取組を他地区に啓発  
アドバイザーの知識や経験に基づいたアドバイスが地域住民を動かす
- ・人的支援のほか、財政的支援も“みんなで作る”意識で住民負担を軽減  
地区の会議には市職員のほか、消防職員が出席、消防団や学校など他団体との橋渡し  
新たな補助制度を創設し、地区防災計画の活動を支援  
大学生と一緒に参加することで活性化、地域のおじいちゃんおばあちゃんのやる気UP
- ・計画のひな型を作成して、進まない地区を支援  
作成の第一歩が進まない地区には、ひな型を作成して取組を促進  
地域によって熱量は様々。温度差に応じた支援で目標期限を意識

# 地区防災計画のひな型

## 〇〇地区防災計画

## 〇〇地区自主防災連合会

### はじめに

- 〇〇地区自主防災連合会会員のみなさん
- 連合会の成り立ちや沿革 など
- 防災に関する動きと取り組み など

平成〇〇年〇月〇日  
〇〇地区自主防災連合会  
会長 〇〇 〇〇

### 目 次

|                               |       |
|-------------------------------|-------|
| 〇〇地区自主防災連合会                   |       |
| (1) 地区の概要                     | ..... |
| (2) 自主防災組織の概要                 | ..... |
| 〇〇地区の概要                       |       |
| (1) 基本方針（目的）                  | ..... |
| (2) 活動目標                      | ..... |
| (3) 長期的な防災計画                  | ..... |
| 〇〇地区の特性                       |       |
| (1) 自然特性                      | ..... |
| (2) 社会特性                      | ..... |
| (3) 課題マップ                     | ..... |
| 〇〇地区の取り組み                     |       |
| (1) 防災活動の体制（組織編）              | ..... |
| (2) 早期発見の活動                   | ..... |
| (3) 避難活動の活動                   | ..... |
| (4) 避難時の活動                    | ..... |
| (5) 援助・復興活動の活動                | ..... |
| (6) 市、消防団、各種協賛団体、ボランティア等との連携  | ..... |
| 〇〇地区の防災                       |       |
| (1) 防災訓練の計画・実施                | ..... |
| (2) 防災訓練の普及啓発                 | ..... |
| (3) 計画の推進し                    | ..... |
| 〇〇地区の防災                       |       |
| (1) 災害対策基本法                   | ..... |
| (2) 災害対策基本法施行規程               | ..... |
| (3) 消防法を中心とした地域防災力の向上策等に関する法律 | ..... |

### 〇〇地区の概要

- (1) 基本方針（目的）  
災害に備え、地区ごとに関防的防災活動を実施し、高齢者や幼児等を重点的に地域コミュニティ全体の安全・安心を確保します。また、防災をきっかけとして地域コミュニティの活性化を図ります。
- (2) 活動目標  
『命』と『笑顔』に結びつけ災害時代の備え活動を実施するため、防災員養成等による年〇回の会合、年〇回の防災訓練を実施します。  
また、チェックシートの特集等の実施割合が〇年以内〇割以上になることを目指します。
- (3) 長期的な防災計画  
地区防災連合会が中心となり防災活動の会合や等々、互いに協力して継続的に活動を実施していくことを目指します。

# 地区防災計画をつくるには 大切なこと…

## ・地域に寄り添う

地域主導で作成を進めるのは困難

行政職員が地域に積極的に関わって顔の見える関係を



# 地区防災計画をつくるには 大切なこと…



## ・外部の力を活用

行政職員だけで作成を進めるのは困難

国や大学、小中学校、公民館、民生委員、消防団などと連携して、地域で顔を合わせる  
ことが大切。行政職員はパイプ役(接着剤)となり、地域を結びつける。

若い力(大学生)は地域を活性化する。



# 地区防災計画をつくるには 大切なこと…



## ・結果ではなく「プロセス」が一番大切

計画が形になること(冊子ができること)も大切だが、**地域にとってはプロセスが一番の宝**  
取組での経験が地域内や外部との良好な関係性を生み、継続した良好な関係性が地域を救う



# 地区防災計画をつくって メリットと課題

## 【メリット】

- ・地域間の関係性向上(顔の見える関係)
- ・地域内で共通認識が生まれる
- ・外部との連携が生まれる(新たなパートナーの創出)



**実災害にも強くなる！**

**地域みんなの力で命を守った(高浜地区)**

**みんなが地域や防災を好きになる！**

## 【課題】

- ・地域防災計画への位置づけ

地域防災計画への位置づけへの内部理解が必要

松山市は令和3年度に地域防災計画に全41地区の地区防災計画について記載

- ・作成完了＝終わりという意識になってしまっている

検証、修正して提出しているのは5地区程度

自治体職員の皆様へ

それにもまして大切な“やりがい”

## 地区防災計画作成のやりがい

- ・防災は「知識」を持っていても「行動」がともなわないとダメ！
- ・地区防災計画も作らなきゃという「意識」を持っていても「行動」がともなわないとダメ！
- ・行動することによって仲間が生まれ、地域とつながり、市民を守ることにつながる
- ・自分自身のスキルを高め、交友が広がることにもつながる
- ・何より自治体職員にとって大切な市民と深く強い関係を築ける

## 【防災の基本は7:2:1】 つなげる・つながる！

### ○自助、共助を高める

- ・地域の皆さんの自助と、とりわけ共助力を高めます！
- ・地区防災計画では、7:共助 2:自助 1:公助

### ○大切な1の公助の役割

- ・地域住民自体をつなげること
- ・地域と学校や企業、大学など、地域防災に必要なところとつなげること
- ・自分自身も多くの人と人脈をつなげ、良き人生の出会いを！！

一歩踏み出してみましよう！！ノウハウを持っている（大学、企業、自治体等）があなたの味方です！！



ご清聴ありがとうございました

